

連載
第48回

人生の失敗

兵庫県明石市の泉房穂(いずみふさほ)市長(56歳)は、2019年1月に発覚した市職員に対する「暴言問題」で辞職に追い込まれた。出直し市長選挙で泉さんは70.44%の得票率で圧勝。その1カ月後の統一地方選で再び市長選が行なわれたが、無投票で再選された。市民の圧倒的な支持の理由は、泉市長の政策と実行力に尽きる。

取材・文 溝口敦

泉房穂さん (明石市長)

撮影/細谷忠彦



7年間、何しとってん。アホちゃうか。すまんて済むか。立ち退きさせてこい。お前らで。きょう火付けてこい。燃やしてしまえ。ふざけんな。今から建物壊してこい」

17年6月、道路の拡幅工事に伴う立ち退き交渉の市の担当職員を泉さんは面罵。その模様が録音された音声データが今年1月に突然公表され、ニュース番組やワイドショーなどで大きく取り上げられた。この報道に接した多くの人は、バブル期の地上げ屋みたいなのを言う市長に驚いただろうが、ほどなく泉さんの音声には続きがあることが報じられた。「(立ち退きに応じていないのは)あと1軒だけです。ここは(交通事故で)人が死にました。角で女性が死んで、それがきっかけでこの事業(拡幅工事)は進んでいます。ホンマに何のためにやっとなる工事や、安全対策でしょ。(担当者)2人が行って難しければ、私が行きますけど。私が行って土下座でもしますわ。市民の安全のためやる、腹立ってんのは。何を仕事してんねん。しんどい仕事やから尊い、相手がややこしいから美しいんですよ。後回しにしてどないすんねん、一番しんどい仕事からせえよ。市民の安全のためやないか」(いずれも発言内容から一部を抜粋)

この内容が伝えられると、泉さんは市民のことを心底思っている熱血漢だと、多くの人々が納得した。また、市長選挙を3カ月後に控えたタイミングで、2年前の音声データが突如公表されたことにある種の不信感を持った市民も多かったのではないだろうか。

問題となった交差点(次頁写真)では死亡事故を含む交通事故が多発しており、明石市は12年度から道路の拡幅工事のための用地買収を進めていた。対象となる工事区域(全長

市民が「明石出身です」と胸張って言えるようにすること ことが、あの騒動を起した 私の責任でもありません。

約200メートル、面積約1900平方メートル）には42人の地権者がいたが、一部の交渉が難航したことで完了予定だった16年度末を過ぎても工事は終わらなかった。

今回、その交差点に筆者も行って見たが、交差点のこちら側が4車線なのに対して、あちら側は2車線と、誰が見てもその危険性は十分分かる（下写真）。「一刻も早く拡幅工事を進めなければ」という泉さんの熱い思いが暴言につながったのだろう。

泉さんは謝罪会見を行ない、2月初めに市長を辞めた。それに伴う出直し市長選には出ないつもりだったが、再出馬を求める市民約5千人の署名を渡され、立候補して当選。その後の選挙での無投票再選を経て今に至る。

パワハラは問題ですが、有権者は泉さんの心情あふれる取り組みを体感し、70%余の得票率になったのだと思います。

泉 目的がどうであっても、パワハラという行為が正当化されるわけではありません。いくら強い思いがあったとしても、言っていることと、いけないことがあります。私は市長という権力者の立場にあるわけで、その配下

の職員に対して、吐いてはいけない言葉を吐きました。職員に対して自分は強者の立場にあるという自覚が弱すぎたと思います。

確かに、どんな目的であってもパワハラは許されるものではない。しかし、そのことで辞職し、市民に信を問うて再び市長の座に返り咲いたのであるから、泉さんの「みそぎ」は済んだと言える。そして反省の弁を述べるだけでなく、泉さんは怒りを自分自身でコントロールするための精神的療法「アングーマネジメント」のトレーニングを受け続けているという。このインタビュ取材の数日後にも丸2日かかる講座を受けると聞いた。

——以前から、自分はキレやすいという自覚を持っていたのですか。

泉 キレてるわけじゃないんですね。目的を達成するために、強いエネルギーで臨んで言葉がきつくなるのは自覚していました。アングーマネジメントの先生にも言われましたけど、実は私は自分の気持ちをコントロールできていない、と。荒っぽい方法ですが、バードと一発かましてから、相手を説得するという。まずカマシを入れるとはまた巧妙な手法だ。



拡幅工事のための土地の買収交渉中の2015年7月には、バイク同士が衝突する死亡事故が発生した。

泉さんは明石市の漁師町で生まれ育った。という町だったのだろうか。

泉 小さな町で、タコやタイを獲っていました。うちは、おやじも、おじいちゃんも、ひいじいちゃんも、そのおじいちゃんもみんな漁師でした。漁師と言っても、1人でタコを獲りに行く貧しい漁師です。おやじは中学校もろくにいかんと漁師になり、おふくろも中学を卒業してすぐに働きました。当時、私の住んでいた町では中卒で働くのは当たり前で、親戚中で私が初めて大学に行ったぐらいです。都会のサラリーマン文化とは全然違いますね。

泉さんは地元の高校を卒業すると、東京大学に進学した。

泉 うちの家はお金がなかったけど、高校までは親に行かせてもらいました。大学は入金も授業料も全て免除で返済不要の奨学金もいただけたので、一銭も親に出してもらっていません。ただ、大学に行って、漁師を継がなかったことに対する引け目もありましたので、

いずみ・ふさほ

1963年、兵庫県生まれ。NHK勤務、国会議員秘書を経て司法試験に合格。97年から明石市内を中心に弁護士として活動。2003年、衆議院議員になり、犯罪被害者基本法などの制定に携わる。11年、明石市長選挙に出馬し当選。現在は3期目。

子ども時代にも弟のことで理不尽な目に 遭い強い怒りを持っていたので、社会を 助け合えて、支え合える場にしたかった。

東京に行くときは「いつか故郷に帰って、この町のために尽くしたい」と思っていました。私の故郷の人たちには強い仲間意識がありましたね。「おまえが明石を見捨てない限り、たとえおまえが人を殺しても味方やから覚えておけ」と言われました。私は「殺しませんから」と言うんですけど（笑）、「おまえが明石を見捨てない限り」というところがポイントなんです。「明石LOVE」なんですよ。

大学生のころ、男性と女性が5対5ぐらいで食事をする合同コンパが流行ってたんですね。明石出身の友人が参加していたとき、目の前の女性に出身地を聞かれると彼は「神戸です」と言ったんですよ。あのときに私は誓いました。絶対に自分は明石に戻って市長になり、明石の人間が胸張って「明石出身です」と言えるようにすると。それが私の使命だと思いました。でも、今回の暴言騒動で、全国

の人は明石と聞けば「あー、あの市長の」と思うので、市民が明石の名前を出しづらい状況をつくってしまいました。市民が「明石出身です」と胸張って言えるようにすることが、あの騒動を起こしたことへの私の償いでもあり、責任でもあります。

大学時代、泉さんは東大駒場寮の寮委員長になり、学生運動にもめり込んだという。

泉 遅れてきた全共闘というか、第2次全共闘を名乗っていました。東京大学での最後のストライキの実行委員長でしたし、そういう意味では激しい学生時代を過ごしました。クサイ言い方ですけど、東京大学を権力者に奉仕するような学校ではなく、困っている人を助けるために学ぶ場にしたという思いがあったんです。子ども時代に理不尽な目に遭った世の中に対して強い憤りと怒りを持っていましたから、こんな冷たい社会を、もう少し助け合えて、支え合える場にできないかと。

泉さんが言う「理不尽な目」とは、障害を持つて生まれた4歳下の弟さんと関係がある。

泉 おやじとおふくろが結婚したときに誓ったのは、自分たちは貧乏でろくに学校にも行けなかったけど、自分の子にはせめて高校は行かせてあげようということなんです。それで私が生まれた。幸せな日々を子ども時代の最初は過ごしましたが、4つ下の弟は生まれながらの肢体不自由で歩けませんでした。当時は優生保護法があり、兵庫では「不幸



左/NHKのディレクター時代には、中国残留孤児の問題などを取り上げた。上/犯罪被害者への支援を衆院本会議の代表質問で切々と訴える泉さん。



な子どもの生まれたい運動」を県を挙げてやっていた。だから、障害を持った子に対する冷たい目は半端なかったんですけど、うちの両親の腹のくくり方も半端やなかったです。おふくろは「どうして障害があると、そんな冷たい目で見られなあかんねん」と、わざわざ弟を抱いて買い物に行きました。

でも、私が6歳、弟が2歳のときに、大阪大学医学部の先生に「一生起立不能」と診断され、身障者2級の手帳をもらったときは、おふくろもきつかったと思います。その後、弟を連れて死のうとしたこともあったけれど、私がいちばん、生きることを選んだんですね。

私はおふくろに「返しなさい」と言われたことがあります。「あんたが2人分（の能力を）、持って生まれてきたから、この子（弟）は歩けない」と。私は勉強もそこそこできたので、周りから「賢い、賢い」と言われた。物覚えもいいし、足も速かった。2人分、つまり、弟の分まであんたが取ったんだと。「あんたも普通でよかったんや。弟に返しなさい」と言われた記憶があります。おふくろは、そ



5歳ぐらいのころの泉さんと4歳下の弟さん。泉さんは自分と弟の2人分の教科書をランドセルに詰めて登校し、学校に着いてから弟のランドセルに教科書を戻していたという(写真は泉さんの提供。以下、泉さんの写真でクレジットのないもの同)。



上／2011年4月、明石市長選挙に無所属で出馬し、相手候補と69票の僅差で初当選。右／今年3月の出直し市長選挙で圧勝し、支援者と握手する泉さん(写真提供／共同通信社)。



んなことは言っていないと言っただけです。

だから、テストで100点をとっても、うれしくなかった。五体満足の自分が100点をとって、みんなから「偉いね」と言われることが、すごくつらかった。障害のせいで100点をとれない人もいるのですから、100点をとって喜ぶ自分であってはいけません。自分の能力は人様のために使うものだと、小学生でしたけど、ほんまに思っていました。

「一生起立不能」と診断された弟でしたが、4歳で立ち上がることができるようになり、5歳になるとよろよろしながらも歩けるようになりました。これで、おやじやおふくろ、おじいちゃんやおばあちゃんも通った家の近くの同じ小学校に弟も通うことができる家族で喜びましたよ。でも明石市は「そんなに歩きにくいのなら、電車に乗ってバスに乗って、遠い養護学校に行きなさい」と言っ

たんですよ。忘れもしません。「歩きにくいから手伝いましょう」ではなくて、「歩きにくいから遠い学校に行け」ですよ。

家族が通学に責任を持つ、弟がけがをしても学校を訴えない、と一筆書かされたうえで、ようやく弟は私と同じ小学校に通えることになりました。おやじもおふくろも朝早くから漁などに出ていて登下校につき合いませんから、私が弟と一緒に学校に通いました。

小学5年、6年の2年間、泉さんは毎日弟さんと登下校したという。

泉 私が6年生のときに、2年生だった弟がどうしても運動会の50メートル走に出たいと

足の悪い弟が運動会でうれしそうに走っている姿を見たとき、どうして自分は応援しなかったのかと悔いました。

言い出したんですね。私も両親も「迷惑をかけるから」と反対しました。でも、弟は出場しました。同級生からずいぶん遅れてのゴールでしたが、弟がうれしそうに走っている姿を見たときに、私は涙がぼろぼろ出てきました。「迷惑をかけるから」というのは口実で、本音は自分が友だちから笑われたくないから反対していたんです。みっともなくとも、運動会に出たいという弟をどうして自分は応援しなかったのかと、本当に悔いました。

あのときに感じた思いは、現在に至るまでの私の行動の原点になっています。人は他人の痛みが分かると言うけど、当事者の本当の

気持ちなど分かりようもない。だから、私がかかれと思うからといって、当事者にとってよいことなのかどうか分からない。そうした、ある意味「限界」を実感する体験を小学校6年生のときにできたのは、大きなことでした。

——現在、弟さんはどうされているのですか。

泉 弟は今、普通に働いています。その後、弟はさらに歩けるようになり、学校にも行けました。結婚もして子どももいます。両親は弟がよくなって、私に「家族の闘いは終わった、もういいんだ」と言いました。でも、私は「終わっていない」と反論しました。うちの弟は歩けるようになったけど、弟と一緒に施設に通っていた子たちは歩けてないんです。「みんな苦労しとるやないか。何で自分の家

族が歩けるようになったからといって終われるんや」と、ちようど思春期だったこともあり、親に強く反発しましたね。

大学生になってからも、そうした気持ちは変わりませんでした。周りを見ると、みんな裕福な家庭で育っていて、家庭教師をつけてもらい、大学に入り、その後は官僚や政治家になるとか、そんなことばかり言うてる。誰が人の痛みや苦しみや悲しみに対して寄り添うんだと。私自身がすっかりと具体的な形にしていけないとダメだと思いました。周りの人間に頼れるとはとても思えなかつたです。

泉さんは大学を卒業すると、「障害者に関する番組が作りたい」とNHKに入局。そ

の後は国会議員秘書を経て司法試験に合格し、弁護士として活動。03年には民主党から出馬して衆議院議員となり、11年から明石市長を務めている。

市長就任後は「子どもを核としたまちづくり」「やさしい社会を明石から」をスローガンに、さまざまな政策に取り組んでいる。中学3年生以下の医療費と第2子以降の保育料、市営施設の子どもの利用料などをすべて無料化し、児童養護施設や児童相談所を設置。市の支援のもと「こども食堂」は全28小学校区に立ち上がって現在計41カ所もオープン。すべての子どもが無料で利用できるだけでなく、障害者や認知症の高齢者も利用している。

私が市長になるまで子ども関連予算は、約100億円でしたが、今では2倍に増やし、担当職員数も3倍にしました。

子どもへの支援以外にも、犯罪被害者支援金の導入や罪を犯した人の更生支援なども実施。こうした政策が支持された結果、6年連続で明石市の定住人口は増加し、出生数も4年連続増加。税収も増えたことで市の貯金は市長就任前と比べて約5割増えたという。

泉 「子どもを核としたまちづくり」とは、簡単に言いますと「すべての子どもたちをまわりのみんなで本気で応援すれば、まちのみんなが幸せになる」ということです。対象は「すべての子どもたち」です。所得制限という名のもとに、親の収入の多い少ないによって、子どもたちが受けられる支援に差をつけません。低所得者層だけでなく大多数の中間層の

お子さんにも支援が届くようにすれば、多くの方が政策を支持してくれるようになります。

もう1つの「やさしい社会を明石から」という考えは大学生のころから思っていました。2つ意味があつて、国がやってくれるまで待つていられないので「明石から始めてしまおう」という意味と、「明石から全国に広げるぞ」という意味です。結果としては、人口増、赤ちゃん増、税収増で明石市は全国の自治体から注目されるようになりました。明石市のよいうな取り組みが全国に広がることを願っている状況です。

——どんなに理念や思想が立派でも、政策を実現するためには市議会の賛意を得なければ



上/明石駅前にオープンした子どもの遊び場「親子交流スペース ハレハレ」は無料で何時間でも遊べる。同じ建物には蔵書数60万冊の図書館も。左/市民の声を集める「意見箱」は市役所内や図書館など4カ所に設置されている。

なりません。過去に「改革派」として市長や知事に就任した人でも、議会の同意を得られず、当初の志を捨ててしまった人はいます。議会や政党との付き合い方はどうやってきたのですか。

泉 私はこれまでの市長選では、どの政党にもどの団体にも依拠せずに戦ってきました。そういう意味では、私の応援団はいわゆる「普通の市民」だけですが、でもそれで十分だと思ってきました。

——そういうことでよく政策が実現していきますね。泉さんの政策に理解を示す議員が多かったのですか。

泉 そこはよく驚かれます。今年で9年目ですけど、市長になって1年目は、予算案を議会に修正されました。その後も市議会全会一致で「市長に議会軽視の反省を求める決議」を採択されたこともありました。最初は政策を実現するのに確かに苦労はしましたが、少しずつ結果を出すことで、市民からの応援が

増えていきました。圧倒的多数の市民が「イエス」であれば、議会も「ノー」とは言いにくくなります。

——市政は非常に順調というか、いい循環をしており、税収も増えました。とは言っても、財源にはやはり限りがあります。どうやって

子ども関連予算を生み出しているのですか。

泉 明石市の一般会計予算は1000億円ぐらいいんですけれど、そのうちの「子ども予算」は、私が市長になるまでは約100億円でしたが、今では2倍に増やし、担当職員数も3倍に増やしました。大胆に予算を増やしたわ



泉さんの最新刊
子どもが増えた!
明石市 人口増・税収増の自治体経営
(光文社新書 本体980円+税)



瀬戸内海に面した市庁舎からは明石海峡大橋がすぐ近くに見える。「私は失言癖があるから気をつけないと(笑)」と言いながら、約2時間のインタビューの間、生い立ちや政策について熱く語り続けた泉さん。

けですが、そのお金はどこから持ってきたのか——。例えば、道路や下水道などの公共事業を半額ぐらいにしました。簡単に言うと「不要な道路はつくらない、下水道は壊れなければいい、そのかわり子どもや福祉をやるんだ」という形で予算や職員をシフトしたのです。その結果、明石は子ども施策がどんどん進んで、子どもに寄り添うまちになりました。

市民に安心感が生まれた結果、そうしたまちに住みたいと思う人が移り住んできて、地域経済が回りはじめました。地域の再生という、企業や大学の誘致という発想になりがちです。でも、明石と隣接する神戸や大阪には多くの企業と学校があり、そこへは明石から通えるので、何もわざわざ企業や大学を誘致する必要はないのです。「働く」「学ぶ」は市外で、明石は「暮す」に重点を置くべきだと考えました。そのために「子どもを核としたまちづくり」をすれば、絶対にうまくいくと思っていました。偶然じゃない、すべては予定どおりであり、かつその途中なんです。

泉市長は原体験に基づく冷徹な現実感を持ち、次々施策を実地に移している。他の自治体から見学者が相次ぎ、明石の成功例が他市町村に移植される日も近いと見られる。「暴言市長」は先進的な庶民目線の「実行してナンボ」の政治家だった。明石市民は明石限定のピカイチ市長を持ったものをつくづく思う。

みぞぐち・あつし

1942年、東京都生まれ。

『闇経済の怪物たち』(光文社知恵の森文庫)、『山口組三國志 織田絆誠という男』(講談社+α文庫)ほか著書多数。『さらば! サラリーマン 脱サラ40人の成功例』(文春新書、下写真)が好評発売中。



さらば! サラリーマン
脱サラ40人の成功例
(文春新書 本体850円+税)